

「初心」

新年あけましておめでとうございます。



- 「私も、人生は初めてですから、まったく手探りでして、その折々に感じたことや考えたことをお話ししています。」…なるほどまったくそうだと思います。正月の朝のニュース番組で京都の鈴虫寺の僧侶の方がキャスターに話していた言葉です。この寺院は正式には華厳寺と言い、説法もたいへん人気があるそうです。
- 私たち教員も毎年4月には初めての子どもを担当します。1年ごと新しい出会いのたびに新しい気持ちでがんばろうと思います。かつて担任したり担当したりした子に対しても、その学年になった〇〇ちゃんは初めてなわけで新鮮さは変わりません。若い時なら、この学年を受け持つのは初めてというのもよくあります。我々は4月にも初心に帰るきっかけをもらっているわけです。
- 考えてみれば、親業もそうです。どの親にとっても「親は初めて」です。第2子であっても、長男は育てた経験はあるけど、弟妹を育てたことは「初めて」でしょう。
- かつては祖父祖母が同居していたり、近所にお世話してくれている年配者が大勢いたりしました。そういった人から教えてもらえたり、日々手本を見せてもらえたりしていました。しかし、今の時代の環境では、たとえば、こう躰けられた、こう教わったというように自身が親にしてもらった経験をもとに、自分の願いを味付けしながら手探りで育てられているのではないのでしょうか。どうほめるか、どう叱るか、社会性、自立性を促すには、長所を伸ばすには、健康管理はどうすればなど、それこそ試行錯誤の繰り返しでしょう。兄弟で顔は似ていても性格は全然ちがったりするのもうなずけます。
- そんな子どもたちには、新年を迎えて気持ちをリセットして、毎日毎日を充実した気持ちで過ごしてほしいと願うのと、私たち自身も初心を忘れず、新鮮な気持ちで子どもたちと共にこの1年頑張りたいと思います。



学校長

貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。